

目次

第一部 明治・大正・昭和の滋賀県

第一章 滋賀県の誕生（明治元年～十年）

【概説】大津県の時代／滋賀県の誕生／新しい自治の仕組み／滋賀県の「文明化」／藩士たちの明治維新／「史誌編輯」のはじまり

1 廃仏毀釈と文化財保護／2 明治時代の城郭保存／3 簿書専務の設置／4 第二代県令籠手田安定／5 近江商人と近江米

第二章 文明開化と滋賀県（明治十一年～二十一年）

【概説】教員養成のはじまり／彦根製糸場の開業／最初の県会開催／鉄道路線の誕生／田川カルバートの建設／新庁舎の完成

1 彦根製糸場と工女たち／2 実現しなかった鉄道路線／3 「海があった時代」の終焉／4 秘密文書が語る自由民権／5 彦根城外堀の養魚場

第三章 白熱する滋賀県会（明治二十二年～二十六年）

【概説】地方制度の確立／インフラの近代化／白熱する滋賀県会／饗庭野陸軍演習場の設置／大津事件

1 皇室と近江の幸／2 瀬田唐橋は木造か鉄筋か／3 県庁移転騒動／4 幻の坂井郡／5 瀬田川浚渫と大越亭

第四章 相次ぐ災害と戦争（明治二十七年～四十五年）

【概説】琵琶湖大水害の発生／府県制・郡制の施行／日清戦争と日露戦争／古社寺保存法の成立／「地方改良」の時代／姉川地震と震災記録

1 湖国のスポーツ大会／2 近江鉄道の軌跡／3 大津市誕生／4 天気予報のはじまり／5 京阪電鉄と京津電車

第五章 大正から昭和へ（大正元年～昭和二十年代）

【概説】政友会の党勢拡大／景勝地の利用と保護／滋賀県史の編纂／関東大震災の発生／悠紀斎田の選定／都市計画の策定

1 「未発」の米騒動／2 外国貴賓のおもてなし／3 国際ホテルのさきがけ／4 梵鐘を守った文化財技師／5 GHQの時代／6 マラリアの撲滅

第二部 滋賀県立公文書館の紹介

第一章 利用案内

寄稿 公文書館への序章

第二章 所蔵資料の解説

1 県官員履歴／2 社寺明細帳／3 府県史料「滋賀県史」／4 琵琶湖疏水関係文書／5 古社寺調査編冊／6 湖国巡幸関係文書

歴史公文書が語る湖国

—明治・大正・昭和の滋賀県—

企画・編集 滋賀県立公文書館

B5判 212頁

書店でお買い求めいただけます。

※当館では販売していません。

サンライズ出版

価格 2,200円（税込）

